



# くろする〜ど

2021 / 9月号 第263号



府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合っていたり、楽しく生活していくことを願って、活動を続けています。

## 会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

### ～サロン月間カレンダー～9月～

### 「外国人市民むけ防災講習会の報告」

緊急事態宣言が9月12日(日)まで延長され、また府中市のコロナ感染者の数が増加していることにより、学習者とボランティアの安全を守るために9月1日(水)から始まる予定だった日本語学習会は、実行委員会やそのほかの活動は、9月いっぱい休止します。再開の時期については、追ってお知らせします。

生活情報支援部会 桑島 宗利

7月17日、生活情報支援部会は恒例の外国人市民むけ防災対策の会を行いました。

今回はコロナ禍でサロンの学習者が大幅に減っている中での開催となり、どれだけ集まってくれるか不安ではありましたが、サロンの文化交流部会からも発信して頂き、さらに防災危機管理課の尽力で市の広報に案内が出たこともあり、新たに町会役員や市議会議員も参加するなど広がりが出て有意義な会になりました。

参加者は総勢20人でした。台風や水害、さらに地震の説明は生活情報支援部会の橋田さんと防災危機管理課の望月係長が行い、避難所についての説明では配った防災マップに実際に自分が避難する避難所を探して書き込んでもらう体験も行いました。

さらに市の災害情報ツイッターに自分のスマホで登録してもらい、生活情報支援部会員がそれぞれ自宅から持ち寄った非常持ち出し袋を見て、みんなで話し合うこともできました。非常持ち出し袋については関心が高く写真取りしたりメモを取る人もいました。

参加した方々からは、「もっとこういう会をやってほしい」「外国人向けの会なら同国人とつながりを持てると思って参加した。こういう機会がもっとほしい」「せっかく届く防災情報がやさしい日本語ならもっといい」などの声がありました。

#### ■定例日本語学習会休止

9月1日(水)～9月29日(水)の期間は、  
6・13・27日(月) 午前・午後  
1・8・15・22・29日(水) 午後  
3・10・17・24日(金) 午後・夜間  
の学習会をお休みします。

#### ■実行委員会中止

9月8日(水) 午前10時～12時

#### ■文化交流活動とその他の企画活動

しばらくの間、お休みします。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



# 世界の文化

## 『憧れ』をビジネスに

### 独自の文化を創った日本

パク チャンヨン (韓国)

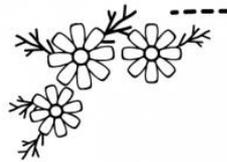
日本語学習会で一緒に勉強している皆さんはどのような理由で日本に来ましたか？いろいろな理由があると思いますが、私は日本のファッション文化が好きで、大学を卒業して日本に行くことを決めました。高校生の時、接した「POPEYE」という雑誌は日本ならではの独自のアメリカンスタイルに関する内容が満載されていました。この雑誌がきっかけで日本のファッション文化にはまってしまいました。

私が日本のファッション文化に一番興味を覚えたところは「アメリカンカジュアル」というジャンルです。第二次世界大戦が終わって日本には多様なアメリカ文化が輸入されましたが、日本はそういう文化の価値を認めてファッション産業を発展させてきました。アメリカの東部地域の「アイビー」文化を流行らせた「VAN」というブランドから、アメリカ西部地域のライフスタイルを扱う雑誌「POPEYE」、そしてハンティングとワークウェアブランドのカタログである「Made in U.S.A」などの雑誌があります。

1967年は「BEAMS」の店舗がオープンしました。当時「BEAMS」は日本で見つけられないアメリカの商品を取り扱いました。NIKEのスニーカーもこの商品構成の中の一つでした。バブル経済が終わってからはアメリカの中古品を取引する「ヴィンテージ」というジャンルが発達しました。そしてアメリカのミリタリーを細かいところまで拘って作り出す「復刻」というジャンルも生まれました。

実際に自分も日本に生活しながら、文化のような無形な事の価値を認める日本人の気質を感じています。日本がアメリカ文化を取り入れてから50年以上が経った今はファッション文化をアメリカに逆輸出しています。そして長い間アメリカの文化や歴史の

殆どを吸い取って発展させてきました。現代、世界の多くの人たちが「アメリカンカジュアル」というジャンルで日本のブランドと文化を追っています。物事を見習う学生として始まった日本は今、世界で「先生」になる資格を得たと思います。



わたしのふるさと ~35~

## 「両手に故郷」

げつようごご 月曜午後ボランティア 小杉 英子

私には故郷と呼ぶべき町が二つある。一つは幼少期から中学時代を過ごした東京都世田谷区上馬、もう一つは生まれて半年間とその後、高校時代3年間を過ごした福岡県北九州市である。

前回(1964年)の東京オリンピック前の世田谷は、今とは比較にならないほどのんびりとした田園風景の広がる所だった。幼稚園には1年上の友達とお弁当の入ったバスケットをブラブラさせながら環七を「鬼ごっこ」しながら通っていた。車が来るのは時々で、信号がなくても横断できる状態だった。小学校は駒沢にあった。現在ファッションナブルな駒沢公園はガランとした空き地で、下校時によくクラスメイトとカラフルなタイルを掘り出しに行き遊んでいた。遠足は二子玉川周辺で、メダカやザリガニを捕まえ楽しんでいた。当時「二子玉川園」という遊園地があり、グルグル回る乗り物に乗って、怖くて泣いた思い出もある。家の近くに小さな尼寺があり、夕方「カーン・カーン」とかわいた鐘の音が聞こえると、子供たちはそれぞれの家に帰って行った。朝から夕方まで真っ黒になって遊んでいた。

そして、前回の東京オリンピックの時期、父親の転勤の為北九州市へと引っ越すことになった。

楽しい中学校生活を送っていた私にとり、これは青天の霹靂といえる出来事だった。転入した学校は規則が沢山ある厳しいミッションスクールだった。知り合いもなく、生活環境の違い、言葉の違い、そ

して考え方の違いに戸惑うことばかりで、ひたすら東京に帰りたいと願っていた。休日にぶらりと出かけると、次回のホームルームで話題になりびっくりする事がしばしばあった。学校生活を思い出す事はないが、よき友人に恵まれ、今でも月1回は長電話でお喋りをしている。福岡県は玄界灘に面しているため、海産物、特に魚介類が美味しかった。アオリイカ・赤貝・アラ（魚の名前）等々。

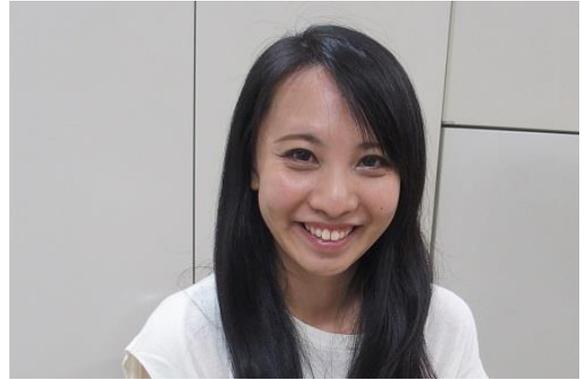
九州へいらしたことの無い方は是非1度訪れてください。



当時の北九州市八幡区黒崎

みな かくしゅうしゃしょうかい  
**皆さんよろしく◇学習者紹介**

チェン ウエイピン たいわん  
**陳 瑋平さん（台湾）**



えん せつめい  
**「ご縁はメニューの説明から」**

台湾の台中市から2019年にご主人の仕事の関係で日本にやってきました。

2011年、学生だったご主人と台湾で逢いました。当時瑋平さんも大学で英語の勉強をしていた頃で、父親の友人の居酒屋に家族と一緒にいる時、言葉が解らずに困っている日本人にメニューを説明しました。それがきっかけで友達となり、2016年には台湾で仕事をしていたご主人と結婚することになりました。

2019年ご主人の仕事の関係で、3歳になっていた長男を連れ来日し、彼のご両親と一緒に府中市で住むことになりました。

今は仕事をしていませんが、将来は仕事もしたいので、日本語をサロンで勉強しています。ご主人、ご両親とは日本語で話しているので、会話は困らないようですが、幼稚園からもらってくる手紙などを理解するのはとても大変で、早く日本語が上達したいと考えているそうです。

将来ご主人が居酒屋を経営したいとのことで、二人で楽しく居酒屋で働く夢を抱いています。ピアノを弾くのが趣味とのことです。ライブ演奏もある素敵な居酒屋になるのではないのでしょうか。

（取材・文構成 堤 林）

# わたし 私の☆つづがき

## ワクチン副反応いろいろ

金曜午後ボランティア 鷹見 正昭

6月2日、待ちに待った1回目のワクチン接種を大手町の大規模センターで受けました。

心配していた痛みや副反応はなく、翌日から普段と変わることなく過ごしました。

ところが1週間後に、接種した左腕に10円玉大の湿疹が出ました。そして、2日目、3日目と徐々に広がり、4日目には、肩から肘までがこんもりと腫れあがりました。

何が起きたのか不安になり、クリニックを訪ねました。医師の話では「多分、副反応でしょう。モデルナ製ワクチンの副反応の事例は、現在よく解っていないので、断定はできませんが……。1週間程様子を見てください。」と言うことでした。そして、1週間後から徐々に湿疹が消えていきました。接種してから3週間後のことです。

後日、この症状はモデルナ製ワクチンの副反応の特徴で、“モデルナアーム”の名称で報道されています。

そして7月1日、2回目のワクチン接種日がありました。場所は同じ大規模センターです。これでコロナから解放されるとの思いで、気持ちも軽やかに早めに会場へ向かいました。

予約時間は夕方5時ですが、待つことなく30分ほどで予定通りに済みました。

2回目は1回目より強い副反応が出ると言われていますので、少し気にはなっていましたが、翌日起床時は普段通りの体調でホッとしました。しかし、朝食後から体調が急変しました。微熱もありそうです。37度位でした。倦怠感も出てきました。とうとう椅子に座っているのが耐えられなくなりました。横になりアイスノンを枕にして寝込みました。家内も全く同じ状態でした。検温すると38度に迫ってい

ました。そして1時間後には38.5度です。アレアレ…もしかして、コロナに感染したのでは…。だんだん不安に駆られました。

副反応なら2日で熱は下がるはず？熱が下がらなかつたらどうしよう？その時は、診察してもらえない、と覚悟をしたものの心配は尽きません。

既に夕食の時刻は過ぎています。少し食べようと思いきや冷蔵庫の中を見ましたが、何もありません。外は大雨。コンビニへ行く気力もなし。何かないか探しました。「サトウのご飯」が1個だけありました。レンジで加熱して海苔を巻いて半分ずつ食べました。非常食が何も無い我が家の備蓄状態を悔やみました。結局2日間寝て、その後回復しました。

7月から感染が急拡大しています。その要因は、感染力の強い「デルタ株」に置き換わっているからとのこと。2度のワクチン接種でも油断できません。自分の安全は自分自身で守ることが大事です。

そして、早くワクチン接種が全世代に行き渡ることを願っています。



## コロナワクチンの接種を受けて

金曜夜ボランティア 仙波 昂

予約をするのにちょっと手こずりました。まずはWebでの申し込みを試みました。ところがPC操作途中で予約満杯になってしまいました。次に電話です。1日目100回以上掛けました。話し中だったり、今電話が混んでいますからとのアナウンスだったり、担当者にお繋ぎしますとって話し中になってしまったりでした。疲れて諦めました。

2日目は50回目くらいで繋がりが予約できました。その後自分の都合でキャンセルしなくてはなくなり、結局6月30日に近所の掛かりつけのクリニックで接種を受けました。接種は手際よく何の問題もありませんでした。副反応はまったくありません。

2回目の接種は7月21日でした。2回目の方が副反応が強いとの風説があり心配しましたが、私も家内もまったく副反応はありませんでした。高齢者には副反応が少ないとの情報が正しかったのでしょうか。

ワクチンとか予防接種を避けてきたのでここ50年ほどの間で初めて筋肉注射を受けました。当初は接種を受けるかどうか少し迷いましたが今では受けてよかったと感謝しています。

## ワクチン接種体験談

金曜午後ボランティア 千葉 幸代

『くろすろーど』編集部よりこの原稿を依頼された際、とまどいました。

当初ワクチン接種を受けたいとは思っていませんでした。

未知の異物を体内に入れる事が不安です。インフルエンザワクチンも今まで自分からうけたことはありません。

世間ではワクチン接種予約で一喜一憂、システムトラブルなどで大騒ぎ!

早い者勝ちの予約システムに疑問を感じたり、そもそもワクチン接種効果の情報をどう判断するかを考えて時が過ぎました。

夫は飛行機に乗る予定があるのでワクチン接種を受けると言います。でも自分から予約を取ろうとはしません。

結局、私の主治医からの「集団免疫」が必要との話をうけてその病院で予約をとることになりました。

7月になって2回目の接種が終わりました。副反応は腕の痛みと微熱ですみました。

安心したと言っているのでしょうか?未だにモヤモヤとした気持ちがあります。

## ワクチン接種受けない宣言が一転して

金曜夜ボランティア 橋本 せい子

ワクチン接種6/19に2回目終了しました。私の副反応の体験をお話させていただきます。痛みや高熱が出ること、だるさなど現れるなどの副反応の事前情報があつたのでそれを心に留めて過ごしました。

①初日は普通に過ごし、夜から徐々に腕の腫れ、痛み。

②2日目、接種部分の筋肉痛でさわると痛む。午前中から時間経過で38度前後の高熱がおきる。気持ち悪さとだるさで食欲がない。けれど事前情報のおかげで慌てず時間経過を待つことができた。高熱の不安の人は医師に相談して解熱剤も飲んで良いと聞いている。が、私は薬は好きでなく、時間経過に任せ、水分補給やゼリーなどで体力保持を心がけ、回復に備えた。一日中ボーッと横になる。

③3日目、少しずつ体温は平熱に戻ってきた。そして食事の準備をするなどの気持ちが湧き、心身共に余裕が出てきた。ほぼ平常の生活に戻る。

以上が私のケースです。終えてみて自己免疫力に頼り、絶対ワクチンは受けないと宣言してきた私だったので身近な人たちから「それはまわりの人を守るため受けた方が良い」との声がプレッシャーでした。

そのように迷っていたところへ「〇〇で並べば今なら予約ができるかも」と親切なお電話をいただき、思わず自転車で駆けつけている私でした。今ではとてもラッキーだったと思います。心の重荷が下りてほっとしています。



4月上旬、市の広報にワクチン接種の記事「最初は90歳以上次に65歳以上89歳までの方の予約受付」が掲載。

私はかかりつけの医者に問合せ、「まだ具体的な事は決まっています」との事。

知り合いから「予約完了、第一回目の接種を受けた。」との情報が入ってきます。

友達からは「〇〇クリニックは予約出来るかも」との情報が。

早々に電話。何度もかけるが無情にも「プープー・プープー」翌日、コーヒーカップを片手に再度挑戦。何度かけても「プープー」繋がらない。

再び友達から別の医院の紹介を受け。早速予約時間にコーヒーカップを片手に、再度電話のボタンをプッシュ。何度かけても繋がらない。受付終了間際、再度挑戦。「プープー・プープー」繋がらない。何度目かのコール「ルルル・ルルル」「ウム」「発信音が違う」「はい〇〇医院です」「わおー」電話が繋がった。

早速ワクチン接種の予約、2回とも完了。電話をこんなにもかけまくったのは、初めて。

「いやー・ワクチン接種の予約がこんなにも大変なのか？」

無事に2回の接種完了。これといった副反応もなく、これで一安心。早く元の生活に戻りたい。

## 「コロナ禍での小勉強会報告」

さいきん き にほんご  
～ 最近気になる日本語 ～

けんしゅうぶかい かいよう ゆみこ  
研修部会 萱生 由美子

「勉強会」が実施出来なくなって1年半。この7月になってようやくワクチン接種も進み、研修部会のメンバーもほとんどが接種終了という状況になったので、部会内で久しぶりに雑談がてら小勉強会を開こうということになりました。以下はその報告です。(7月12日、参加4名)

### ① 言葉の語源は？

「ごまかす」の語源は諸説あるが、江戸時代のお菓子から来ているという説。それは「胡麻胴乱(ごまどうらん)」といい、小麦粉、糖蜜、胡麻を混ぜて練ったものをぷっくりと焼き上げたもの。見た目におおきいものの、割ってみると中は空洞になっていて、誰が言ったか「胡麻菓子(ごまかし)」。これがいつしか「誤魔化し」という漢字をあてるようになったらしい。この説は全員が初めて知って、「面白ーい!!」。

### ② 「肉汁」は「にくじる」か「にくじゅう」か？

意見は分かれていましたが、辞書にははっきり書かれていました。

にくじゅう [肉汁]

- i) 食用の肉を煮出した汁。スープの素とする。ブイヨン。
- ii) 生の牛肉などから搾り取った汁。肉漿 (にくしょう)
- iii) 食用の肉を焼いたときににじみ出る液汁。これは俗に「にくじる」とも。

### ③ i) 「元気に暮らしています」

ii) 「元気で暮らしています」の違いは？



i)と ii)を比べてみると、i)は元気な状態をそのまま述べているのに対して、ii)は何か具体的な動作を示す言葉(例: テニスをしている、野菜を育てている等)の説明が必要ではとの複数意見あり。

④ワクチンが「足らない」と「足りない」の違いは?

i)「足る」は自動詞、Iグループで、「足りる」の古い言い方。

「努力が足らぬ」「足ることを知る」

ii)「足りる」は自動詞、IIグループ。

「眠りが足りない」「言い足りない」

これも意見が分かれましたが、一般的には無意識に両方を使っている人が多いようです。

ほとんどが雑談会の趣きでしたが、マスクをかけての久しぶりの話し合いを全員が楽しみました。9月以降は『勉強会』を企画出来る状況だといいですね。



## 「10日は『とおか』、それとも『とうか』？」

金曜夜ボランティア 和田 泰弘

『くろすろ〜ど』では、創刊号から文中の漢字にルビ(ふりがな)を振ることを習わしにしています。学習者の漢字学習に役立てようというのがその主な目的です。「1日」、「2日」のような特殊読みする日付などもルビを振っています。

今年の1月号の記事の中に「3月10日」という表記があり、「10日」のルビが「とうか」になっていました。編集の大先輩で漢字には博覧強記の坂倉さんが、正しくは「とおか」と指摘してくれました。「8日」は、長音の「よーか」と発音しますが、表記は「ようか」になります。「10日」の発音も「とーか」と長音になり、「8日」に倣って「とうか」というルビが振られたのでしょうか。

長音の発音は表記と異なるので、学習者には難しい学習項目のひとつです。長音の学習に導入されるのが拍(モーラ)で、その代表例に「病院」と「美容院」があります。「病院」は、「びよ・う・い・ん」と4拍、「美容院」は、「び・よ・う・い・ん」と5拍になり、それぞれの拍のリズムに乗って「う」を「ー」と長音で発音するよう指導するのが通例です。

「8日(ようか)」をはじめ、「王様(おうさま)」「素麺(そうめん)」「放送(ほうそう)」のように、オ列のかな(よ・お・そ・ほ)には、そのあとに「う」を添え、発音は「長音(ー)」となるのが原則です。「10日(とおか)」や「そのとおり」「大通り」などは例外と言えます。

この夏、小学1年生の孫娘が我が家に来たとき、国語の宿題に取り組んでいました。覗いてみると、「ひらがなのまちがいをなおしてかきましよう。1. こおえん 2. いもおと 3. こうろぎ」という問題でした。正しくは、「こうえん(公園)」「いもうと(妹)」「こおろぎ」ですね。日本では小学校1年で長音を習うことを初めて知りました。

## 「東京外大との連携プロジェクト」

平成26年度から、サロンでは、東京外国語大学内藤ゼミ（以下外大）と、府中市と一緒に、外国人にわかりやすい情報提供を行うために、毎年テーマを決めて生活便利帳を制作しています。

### 今年度のテーマ

今年度のテーマは、「府中のさんぽ道」です。テーマに沿って外国人も活用できるよう、紹介する予定です。（過去の生活便利帳は、府中市ホームページの「外国人のためのやさしい生活便利帳」に掲載されています。）

### サロンのサポートメンバー募集

数名のボランティアの方をメンバーとして、府中市と連携して、オンラインやメールで、外大生をサポートします。そのサポートメンバーを募集しますので、ご協力いただける方は、9月末日までにサロン事務局にお知らせください。

メンバーの役割は次のとおりです。

- 外大生の作成する素案に対して、外国人に伝わりやすい表現や伝え方などについて検討する。  
（10月から3月上旬まで、月1・2回程度）
- 外大の授業に参加して、素案に対するサロンの意見を伝える。（10月から1月までの間に3回程度）
- 1月上旬の外大生による報告会に参加する。

### 普段の活動・協力のお願い

毎週金曜日（10月から1月上旬の期間）に外大の授業があり、学生が進捗状況をサポートメンバーに報告します。それを受け学習部会に報告し意見を募りますので、ご協力をお願いします。また、外大生が学習会を見学したり、サロンの学習者にアンケートを実施する際にも、ご協力のほど、よろしくお願いたします。（編集部）

先日8月15日、アフガニスタンの政権が崩壊し、タリバンが支配するというニュースが報じられました。そのニュース映像を見ていると、1975年4月、ベトナム戦争でサイゴンが陥落し、アメリカ大使館員を載せて脱出する米軍のヘリコプターに、南ベトナムの人々が群がる当時の映像を思い出しました。

ミャンマー、アフガニスタンと、政変が立て続けに起きていますが、どちらの国にも、かつてサロンで学習した方々が帰国し暮らしており、皆さんの消息が気になります。平和を取り戻したベトナムからは今や、たくさんの学習者がサロンで学んでいます。ミャンマー、アフガニスタンも早く平和な日常に戻り、また学習者がサロンで学べる日がくるのを願うばかりです。（和田）



【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤林・和田・岩城・末田・里村

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp  
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>